

| | |
|------|------------|
| 対象器種 | DF-70404 |
| 適合器具 | 東芝4線式調光用器具 |

このたびはシーンセクターをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。東芝4線式調光用器具以外の負荷にはご使用できません。

●素人工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意

| | |
|---|---|
| <p>⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●本機の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。 ●電源線接続の際は、4-1 (1)電源電線の接続に従って確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。 <p>! 電源線接続</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 ●本機の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下の原因となります。 ●本機は断熱施工不可です。断熱施工される場合、断熱材・防音材の施工法に従って施工してください。施工に不備があると火災の原因となります。 |
| <p>⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機は屋内専用です。5℃～35℃の範囲で使用するように設計してあります。高温で使用すると火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用すると、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●定格電圧以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用すると短寿命、火災の原因となります。 |

●お客さまはお読みになったあとも必ず保管してください。

お客様へ

使用上のご注意

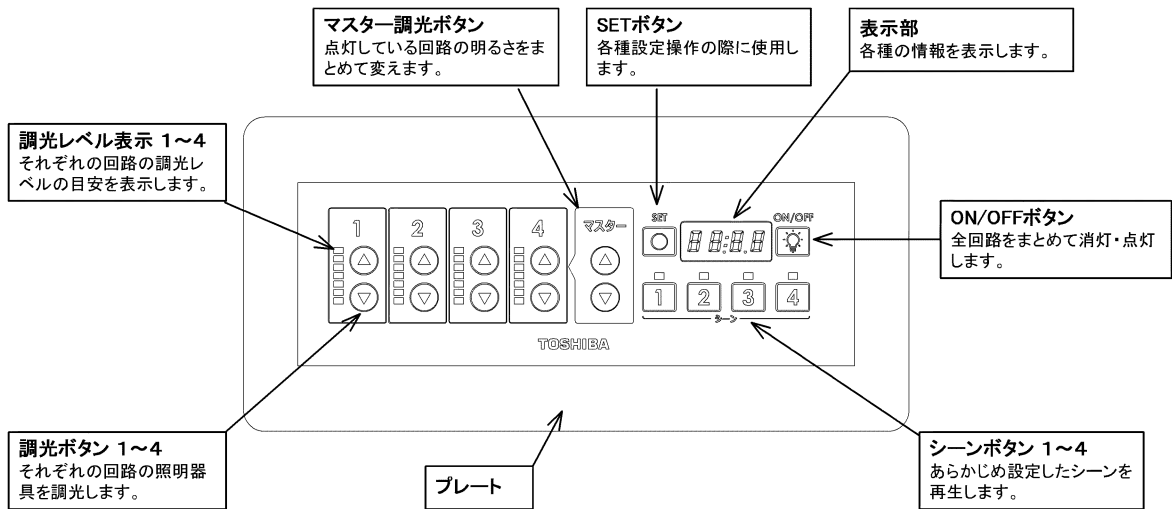
| | |
|---|--|
| <p>⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●本機を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●本機の隙間などに金属物などを差し込まないでください。感電や火災などの原因となります。 | |
| <p>⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●本機を洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●本機を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ●金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。(定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。) | |
| <p>⚠ お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく本機から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。 | |

目 次

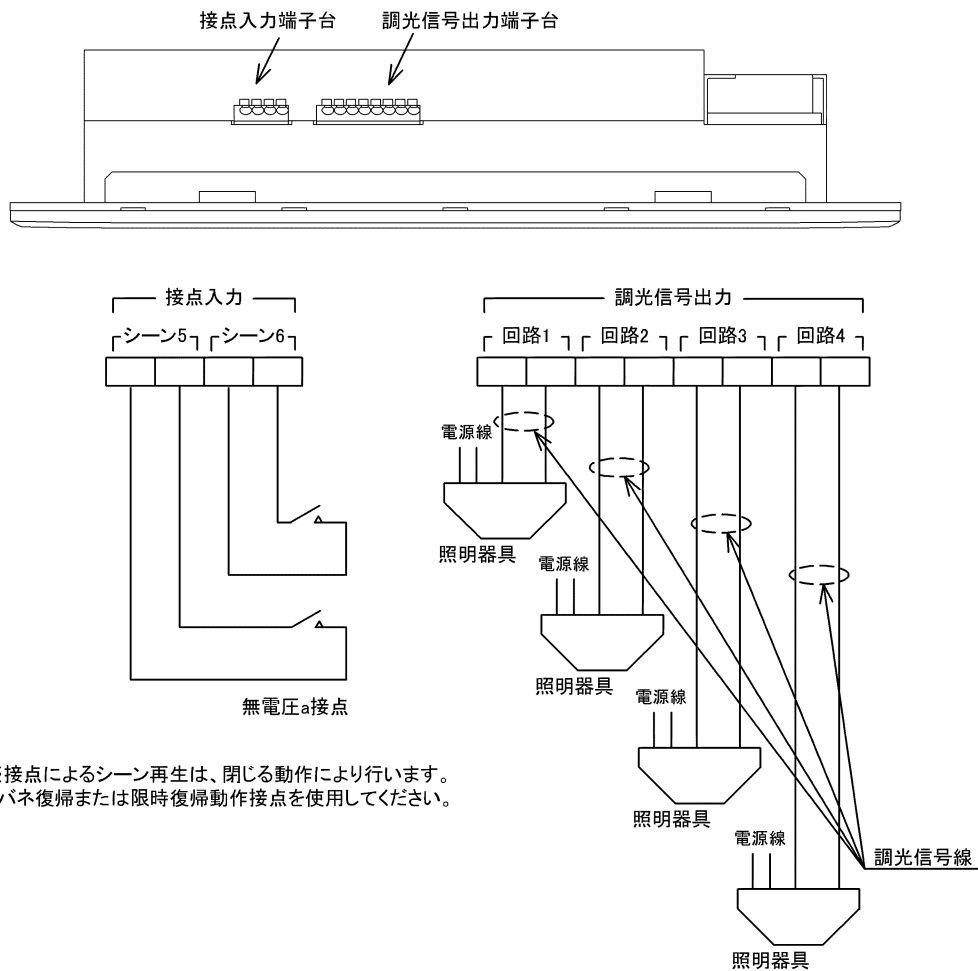
| | |
|------------------------------|---|
| 1. 安全上のご注意 | 1 |
| 2. 目次 | 2 |
| 3. 各部のなまえと信号端子接続図 | |
| 3-1 各部のなまえ | 3 |
| 3-2 信号端子台接続図 | 3 |
| 4. 施工方法とご注意 | |
| 4-1 施工方法 | 4 |
| 4-2 ご注意 | 4 |
| 5. 明るさを変える | |
| 5-1 ボタン操作でシーンを再生する | 5 |
| 5-2 接点入力でシーンを再生する | 5 |
| 5-3 調光ボタン操作で明るさを変える | 5 |
| 5-4 マスター調光ボタンで明るさを変える | 5 |
| 5-5 全回路を消灯する | 5 |
| 6. 設定する | |
| 6-1 シーンを設定する | 6 |
| 6-2 ON/OFFボタン操作時のフェード時間を設定する | 6 |
| 7. その他の機能 | |
| 7-1 調光ボタンによる回路毎の調光操作を無効にする | 7 |
| 7-2 過電流遮断 | 7 |
| 8. 出荷時の設定 | 7 |
| 9. 困ったとき | 8 |
| 10. 仕様 | 8 |

3. 各部のなまえと信号端子接続図

3-1 各部のなまえ



3-2 信号端子台接続図




4. 施工方法とご注意

4-1 施工方法


「3-2 信号端子台接続図」も参照の上、各端子台に電源ケーブルおよび各信号線を配線してください。
(調光信号出力線、接点入力線をまとめて、各信号線と表現します。)
端子台はネジ無し端子です。ケーブルは必ず単線をご使用ください。
接触不良による温度上昇や焼損の原因となりますので、より線はご使用にならないでください。

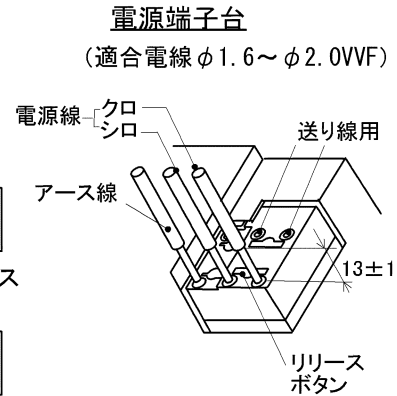
(1) 電源線の接続

- ① 電源線の被覆を電源端子台のストリップゲージに合わせてむいてください。(13±1mm)
- ② 電源線を電源端子台の電源表示穴へ確実に差し込んでください。

| | |
|---|------------------------------------|
|  警告 | 接続が不完全な場合は接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。 |
|---|------------------------------------|

- 電源線ははずすときは、電源を切ってからマイナスドライバーまたはプラスドライバーをリリースボタンに差し込んで、電源線を引き抜いてください。


| | |
|---|------------------------------------|
|  警告 | 感電の原因となります。電源線ははずすときは必ず電源を切ってください。 |
|---|------------------------------------|

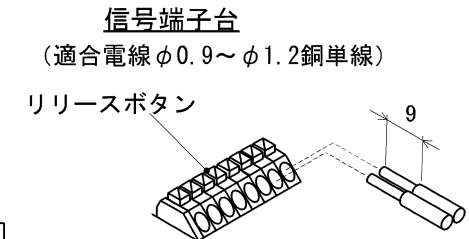


(2) 調光信号出力線および接点入力信号線の接続

信号端子台への結線は以下ご注意の上行なってください。

- ① 信号出力線の被覆を表示ラベルのストリップゲージに合わせてむいてください。(9mm)
- ② 信号線を信号端子台の端子穴に確実に差し込んでください。

| | |
|---|------------------------|
|  注意 | 接続箇所を間違えると、故障の原因となります。 |
|---|------------------------|



※この信号線には極性はありません。
※シーンセレクター～末端照明器具までの配線長は、F-CPEV線φ0.9～1.2で200m以下です。
※接点入力信号線の配線長は、F-CPEV線φ0.9～1.2で100m以下です。

(3) シーンセレクターを、ご指定の場所に取り付けしてください。

- ① プレートを外して、○穴を使用して取り付けしてください。
- ② 取り付け後、再度プレートを取り付けてください。

(4) 総合的な配線チェックを行なった後、シーンセレクターの電源を接続してください。

(5) 電源接続後、シーンセレクターの確認、設定をおこなってください。

4-2 ご注意

- (1) シーンセレクターには、過電流および漏電保護機能はありませんので、必ず分電盤にブレーカを設けてください。
- (2) 各信号線のメガチェックは行なわないでください。シーンセレクターが故障する可能性があります。
- (3) 調光信号線を短絡しないでください。動作不具合となります。
- (4) シーンセレクターは、当社製4線式調光用照明器具との組み合わせが必要です。その他の照明器具との組み合わせはできません。
- (5) 調光信号出力、接点入力にAC100VまたはAC200Vなどの強電線を接続しないでください。故障します。
- (6) 各信号線は、照明器具間の送り配線を除き、電源線および他機器のケーブルとは30cm以上離して配線してください。

5. 明るさを変える

5-1 ボタン操作でシーンを再生する

あらかじめ設定したシーン1～4を再生できます。

- ①再生したい《シーンボタン》を押します。

《シーンボタン》のLEDが点灯し、《表示部》に再生されたシーン番号が表示されます。

フェード動作中は《シーンボタン》のLEDと《表示部》のシーン番号が点滅します。



5-2 接点入力でシーンを再生する

あらかじめ設定したシーン5または6を再生できます。

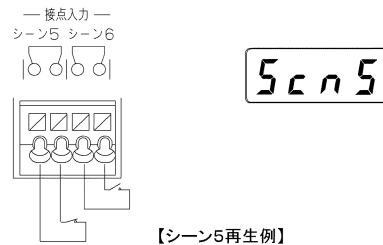
- ①再生したい接点入力を閉じます。

《接点入力 シーン5》の接点入力を閉じるとシーン5が再生され、《接点入力 シーン6》の接点入力を閉じるとシーン6が再生されます。

フェード動作中は《表示部》のシーン番号が点滅します。

※最後に閉じられた接点入力が優先されます。

※接点によるシーン再生は、閉じる動作により行います。
パネ復帰または限時復帰動作接点を使用してください。



5-3 調光ボタン操作で明るさを変える

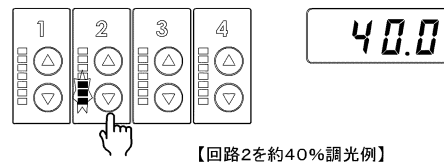
回路毎に明るさを変えることができます。

- ①明るさを変えたい回路の《調光ボタン》を操作します。

一回操作すると、《表示部》と《調光レベル表示》に操作した回路の明るさの目安を表示します。続けて操作することで明るさと表示が変わります。

※操作後、無操作で約3秒経過すると《表示部》の明るさの目安表示は消灯します。

※《調光ボタン》の操作で全回路を消灯した場合、表示部は「...」になります。



5-4 マスター調光ボタンで明るさを変える

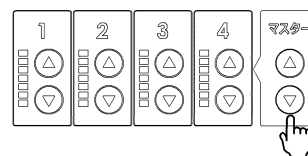
点灯している回路の明るさをまとめて変えることができます。

- ①《マスター調光ボタン》を押します。

各回路の調光レベルの差を保ったまま変化します。

※《マスター調光ボタン》を押し続けると、点灯している回路の調光レベルは上限(100%)または下限(5%)になります(消灯はできません)。

※消灯している回路は消灯を維持します。



5-5 全回路を消灯する

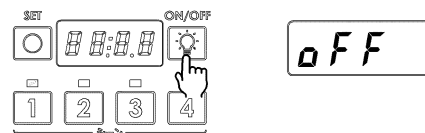
点灯している回路をまとめて消灯できます。

- ①いずれかの回路が点灯している時に《ON/OFFボタン》を押します。

表示部には「OFF」が表示されます。

OFFフェード時間が設定されている場合は徐々に暗くなり、フェード時間後に消灯します。消灯するまでの間、「OFF」表示が点滅します。

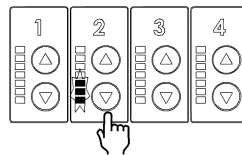
「OFF」表示中に《ON/OFFボタン》を押すと、消灯前の状態に戻ります。



6. 設定する

6-1 シーンを設定する

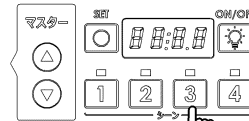
①《調光ボタン》を操作して各回路の明るさを調整します。



②設定したい《シーンボタン》を長押しします。

表示部にシーン番号が点滅表示されます。

接点入力で再生するシーン5またはシーン6を設定する時は、《シーンボタン》1～4のいずれかを長押ししてシーン番号が点滅した直後に《表示部》に「Scn5」または「Scn6」が表示されるまで《マスター調光ボタン》を操作します。



シーン3設定例

③《SETボタン》を押します。

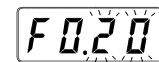
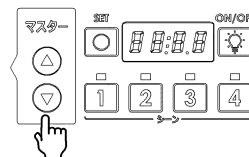
※②の操作後約1分以内に《SETボタン》が押されないと、一連の操作がキャンセルされます。

続いてフェード時間を設定します。

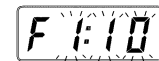
④《マスター調光ボタン》を操作してフェード時間を設定します。

表示部にフェード時間が表示されます。

フェード時間は0秒から1時間30分まで設定でき、0秒から59秒までは1秒単位、1分から1時間30分までは1分単位で設定できます。



例)フェード時間:20秒



例)フェード時間 1時間10分

⑤《SETボタン》を押してシーンとフェード時間を記憶します。

※③, ④の操作後約1分以内に《SETボタン》が押されないと、一連の操作がキャンセルされます。

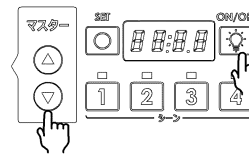
※各回路の明るさのみまたはフェード時間のみ変更する際も、「6-1 シーンを設定する」の一連の操作を行ってください。

6-2 ON/OFFボタン操作時のフェード時間を設定する

①《ON/OFFボタン》を長押しします。

《表示部》に「Fon」と点滅表示され、OFF(全回路消灯)中に《ON/OFFボタン》が押された時のフェード時間(ONフェード時間)を設定する準備ができます。

《マスター調光ボタン》を操作するたびに《表示部》に「FoFF」と「Fon」が交互に表示され、ON/OFFそれぞれのフェード時間を設定する準備ができます。



ONフェード時間設定モード時表示



OFFフェード時間設定モード時表示

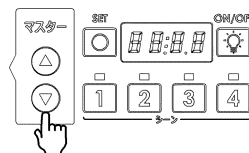
②《SETボタン》を押します。

※①の操作後約1分以内に《SETボタン》が押されないと、一連の操作がキャンセルされます。

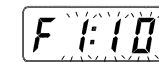
③《マスター調光ボタン》を操作して、ONまたはOFFフェード時間を設定します。

《表示部》にフェード時間が表示されます。

フェード時間は0秒から1時間30分まで設定でき、0秒から59秒までは1秒単位、1分から1時間30分までは1分単位で設定できます。



例)フェード時間:20秒



例)フェード時間 1時間10分

④《SETボタン》を押してフェード時間を記憶します。

※②, ③の操作後約1分以内に《SETボタン》が押されないと、一連の操作がキャンセルされます。

7. その他の機能

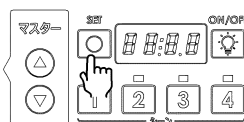
7-1 調光ボタンによる回路毎の調光操作を無効にする

- ①《SETボタン》を2秒以上長押しする。

表示部に回路毎の調光操作設定(有効/無効)が表示されます。

U n L c : 調光操作有効

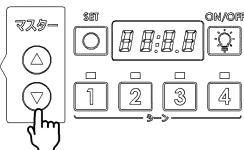
L o c : 調光操作無効



- ②《マスター調光ボタン》を操作して、《調光ボタン》の操作有効/無効を選択する。

《マスター調光ボタン△》を押すと、表示部は**U n L c**になり、《調光ボタン》の操作を有効にする準備ができます。

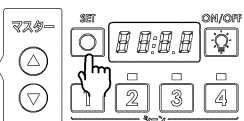
《マスター調光ボタン▽》を押すと、表示部は**L o c**になり、《調光ボタン》の操作を無効にする準備ができます。



- ③《SETボタン》を押すと、回路毎の調光操作有効または無効が設定されます。

※②の《マスター調光ボタン》操作後5秒以内に《SETボタン》が押されないと、一連の操作がキャンセルされます。

※《調光ボタン》による調光操作が無効の状態でも、《シーンボタン》《マスター調光ボタン》《ON/OFFボタン》の操作は可能です。



7-2 過電流遮断

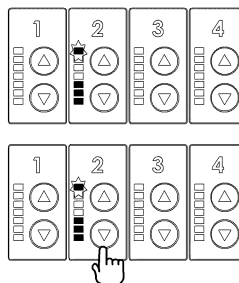
調光信号出力に過電流が流れると、その回路の出力を遮断し保護します。

- ①過電流が検出された回路の《調光レベル表示》の最上段が点滅します。

過電流検出から約3分後、または過電流が検出された回路の《調光ボタン》を長押しすることにより、調光信号出力を再開します。

ただし、再度過電流を検出した場合、出力を遮断します。

※調光信号出力を遮断している間、その回路に接続された照明器具は点灯します。



8. 出荷時の設定

| | |
|---------------|--|
| シーンの調光レベル設定 | シーン1~6共通 回路1 : 70% 回路2 : 70% 回路3 : 70% 回路4 : 70% |
| シーン フェード時間 | シーン1~6共通 : 3秒 |
| ON/OFF フェード時間 | ON/OFF共通 : 1秒 |

9. 困ったとき

| ご質問 | | 考えられる原因と対処方法 | |
|-----|-------------------------------------|--------------|--|
| Q1 | 操作できない。 | A1 | 電源が入っているかご確認ください。 |
| Q2 | シーンが変わらない。 | A2 | フェード時間が長いと徐々に明るさが変わるため、わかりにくい場合があります。フェード時間を短く設定してみてください。 |
| Q3 | 他社製の照明器具は接続できますか。 | A3 | 他社製の照明器具は接続できません。当社の調光用照明器具をご使用ください。 |
| Q4 | 東芝製調光調色器具は接続できますか。 | A4 | 調光調色器具は接続できません。 |
| Q5 | 全消灯することはできますか。 | A5 | ON/OFFスイッチで全消灯(0%調光)になります。ただし、照明器具は待機電力の消費があります。 |
| Q6 | 接続台数を超える照明器具を接続したい場合はどうすればいいですか。 | A6 | 調光信号増幅器をお使い頂けます。調光信号増幅器の照明器具接続台数は施設・屋外照明カタログのLED器具接続台数表でご確認頂けます。 |
| Q7 | 電源が別システムの照明器具を同一の調光回路で制御することはできますか。 | A7 | 電源系統が異なっても同じ信号線で接続されていれば同時に調光できます。ただし、照明器具の電源がOFFの時は点灯しません。 |
| Q8 | 2か所から操作することは可能ですか。 | A8 | できません。1か所からの操作となります。 |
| Q9 | 回路毎の調光ボタンで操作できない | A9 | 調光ボタンの操作が無効になっている可能性があります。取扱説明書P.7を参考に確認してください。 |
| Q10 | 調光ボタンの調光レベル表示の最上段が点滅しています。 | A10 | 調光信号出力に過電流が流れている可能性があります。調光信号線を確認した後にP.7 7-2に従って復旧してください。 |

10. 仕様

| | | |
|--------|------------------------------------|--|
| 電源 | AC100V~242V 50/60Hz | |
| 消費電力 | 12Wmax | |
| 使用周囲温度 | 5~35°C(非結露状態) | |
| シーン数 | 6シーン(シーンボタン:4シーン、接点入力:2シーン) | |
| フェード時間 | 0~59秒(1秒単位)・1分~1時間30分(1分単位) | |
| 調光信号 | 回路(系統)数 | 4出力(4回路) |
| | 出力形式 | DC12V PWM信号(100Hz) |
| | 適用器具 | 当社製 4線式調光器具 |
| | 接続台数 | 最大120台/4回路、ただし最大65台/1回路 注)照明器具の種類により異なる場合があります。 ご使用になる照明器具の仕様図を確認してください。 |
| 接点 | 無電圧a接点 | 最小電流定格0.1mA、DC5V (バネ復帰または限時復帰動作接点を使用してください。) |
| 配線長 | 調光信号線 : F-CPEV線φ0.9~1.2相当 200m以下 | |
| | 接点入力信号線 : F-CPEV線φ0.9~1.2相当 100m以下 | |
| 取付構造 | 5個用深形スイッチボックス取付け | |

日本国内専用
Use only in Japan

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)
 携帯電話 046-862-2772 (通話料: 有料)
 FAX 0570-000-661 (通信料: 有料)
 ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

233363A